

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年9月17日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	宮城県	代表者名	村井嘉浩
担当者部署	企画部デジタルみやぎ推進課	連絡先電話番号	022-211-2472
担当者役職	技術主査(副班長)	担当者氏名	松谷達馬
住所	980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大島 正美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	事前うち合わせの際から大変丁寧に御対応下さり、的確なご指摘とアドバイスをいただきました。研修会の資料もわかりやすく、こちらの要望とおりの資料でした。また、実習用にdataeyeというオープンデータ支援ツールシステムも研修用にシステム構築していただき、受講者にオープンデータの二次利用を体験して頂く良い機会となりました。今回、急遽リアル開催からオンライン開催に変更となった際も臨機応変に対応して頂きました。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年9月15日	9時00分	16時00分	80	340
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	なし	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	なし	
	派遣形態	講演(実地)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	宮城県内の市町村職員及び県庁職員	26人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	宮城県内の市町村のオープンデータ公開率は令和3年4月時点で4.0%(14/35市町村)と低いため、オープンデータ公開に向けた取組推進が必要であった。市町村情報担当職員にオープンデータの取組について聞き取りを実施したところ、「他の業務が多忙で時間が割けない」、「何の情報の公開から取り組んで良いかわからない」、「そもそもオープンデータのルールがわからない」などの意見があった。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	KGI 宮城県内全市町村が年度内に「2次加工を想定した避難所のオープンデータ」を公開する。 KPI ①OD 研修会を開催し、全市町村がOD 研修会に参加する。 ②OD を未公開市町村は新規に避難所のOD を作成する。 ③OD 公開済市町村は標準化された避難所OD を作成する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①研修会の内容構成についての助言、提案 ②研修会の資料及びシステム教材の作成 ③研修会の講師(講義・実習)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	①参加者にオープンデータの意義と目的を示した。 ②参加者に避難所のオープンデータセットの作成方法を示した。 ③参加者にオープンデータの作成方法と公開方法のルールを示した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない ①県内市町村職員へのオープンデータへの意識醸成を図れた。 ②今回の研修会の資料が今後のオープンデータ作成の参考書となる。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	研修会における目的は達成した。今後は実際の市町村支援が必要となる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 現在、とりまとめ中です。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	・県独自のODマニュアルを作成し、市町村に示す。 ・県と市町村が共同で運営するオープンデータツールを運営する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

